

思いを打ち明ける
つもりはなかった

あ…っ

社長っ…



このままの
関係でいれば

ゆっくり舌を
絡めて…

んっ♡

キゅっ…

うん…上手

フラれる心配も
別れる心配も
ないから

貴方と
同じ時を過ごしたびに

心に保険を
かけることばかりが
上手くなった

— 17 年前

君が
はんやちかね
半屋千鐘くん
ね〜？

噂通りキレイな
ツラしてんな？

俺らの
しゃぶってくれよ
男子校だと
ご無沙汰でさ〜



この顔のせいで学生時代は
喧嘩に明け暮れる日々を
過ごした

卒業間際には
三桁の不良たちを束ねる
総長にまで登り詰めていた

しかし

すま
い

卒業式の日
親父が蒸発

父子家庭だった私は
すぐ働かなければ
ならなくなった



自立する為には
それなりの給料を
得なければならぬ

けれど若僧で
なんの資格もない不良が
その額を稼ぐのは
非現実だった

高給の企業は
大卒でない時点で
どこも門前払いだ

ところが…

うん
採用！

求人を見て
ダメ元で面接に
行った先の大企業

その会長は私を
あっさりと雇った

なんで
俺なんかを…？

その疑問は
すぐに解明される
ことになる――

おっ
いたいた

いやあ
見つけられて
良かった

君みたいな
上玉は滅多に
入社しないからね

私を採用したのは
慰安旅行で
レクリエーション係に
選出し

自分と社員の
欲のはけ口に
する為だった

ハー

ハー

ハー

ハー……

逃げる際に足を
負傷してしまい

もう

逃げられないと
諦めかけた時……

ギィ……

彼……
ざんぱでつじ
残波 哲司は

何やってんすか？
代表？

こいつ
嫌がってるじゃ
ないですか

色めき立つ
社員の中
唯一私を助けて
くださった

コンッ……

…逃げるぞ

初めての

残波アッ!!

ははは!
失礼しまっす!

アッ...
アッ...

恋だった

しかし
そのせいで…

残波さんが
解雇!?

そりゃそうだろ
代表のお楽しみの
邪魔をした訳だから

…!!

俺を
解雇すれば
いいのに…!

ギョ

汚い
真似を…!

そういや、残波
会社立ち上げた
らしいな

独立か…

もう同業で
アイツ雇う会社
ないだろうし

会長…相当
裏で手を回した
みたいだぞ

嫌がらせか
陰湿だよな

俺は…未熟だ

社長室

んっ!?
今なんと
言った!?

なんの力もない

だから…

ニクッ

フッ

フッ

あの人の為なら…
なんだってやって
やる

ハッ

ハッ

カキヤッ

初めてなので
優しく
お願いします

秘書に…お傍に
置いて欲しいと
申しました

仕事だけでなく
いろいろと…
教えてください

いつ…
いろいろ??

ビジネスに
必要なものは
全部盗む

すい…♡

ニキ

ニキ

ニキ

こいつを
利用する…!

仕事のノウハウを
コネクションを
金の流れを



あっ!?

サッ

おやおやお忙しいですね
じゃあ次の機会に



なんだ

!!?

びくー

会長!
有給申請を!

会長!
アポの
申し入れが!

会長!
ハンコ
お願いします!

ドッパドッパドッパ



失礼します

スキュー

会長には
ゆっくり愛して
頂きたいので...

会長のが...
どんな風に
挿入ってくるのか
想像しながら
待ってますね...?

ぶいっ♡

さて...

みなさん…妨害
助かりました

本当に
こんなお礼で
よろしいの
でしょうか？

…いい子ですねー

棒読み

次も頑張ったら
もっとすごい褒美
あげましようねー？

はっはっ…

痛み入りますっ♡

グ〜リッ

はっはっ…
はっはっ…

あ…わ…
私にも…っ

はー

私にも
褒美ください

喋るな粗大ゴミ

誰が許可した

ギロ

放逐じゃ

オラア

ふんふん

ふああっ♡

この顔のお陰で
色仕掛けの成功率は100%

その後は、相手の性を見
抜けば支配出来た

秘書という
役職を手に入れ
重役たちを味方につけ

給料以外にも
副業にバイトに
ネット証券…

ハア
だぞっ♡

とにかく
金を稼ぐことにした

稼いだ金は
全て貯金だ

ハア…♡

半屋くん…
そろそろ今夜辺り
どうだね…

繁忙期で
君も疲れた
だろう…？

さっ…♡

さっ、

ゆっくり
くつろげるいい店が
あるんだが…

すみません…



やっと…
あの人の傍で
仕事出来る

決られても
貯金がある

その間だけでもと
引き下がるんだ…!

大丈夫！
今まで散々相手の
懐に入り込んできた
その技術を使って…

はい…

あれ？
お前確か…



私がここに来たのは
金や安定の為じゃない！

おっ!?

貴方と仕事が
したいからだ！

リッパッ



す…すみません
お見苦しい
ところを…

何やってるんだ

あんなに…
色んな相手を
手玉に取って
来たのに

もっと上手く
やれるはずだろ
仮にも面接で
感情的になる
とか最悪だ…

クッ…

昔の癖で
つい…!

くっ…ははっ
分かった
雇うよ





私の思いは
募るばかり……

…そして



社長の努力と人柄で
次第に仕事も増え
社員が増え

千鐘!
♡
おーい

接待課などの
サービスを
始めてからは
大きな仕事
が
どんどん舞い込み

残波グループは
急成長を
していった

残波オフィ

社長……
次のホスト
候補です

へえ……いい子そうだ
テストするから
予定入れておいてくれ

承知しました



リラックス
して…

ギシ…

うん…
可愛い



ハッ…



社長が社員の
接待テストをする度

パタン…

自分の感情には、蓋をした
ふた



あ…社長♡

ギイ…

ああ…っ



社長はどんな風に
ホストを抱くのだろう

私も…
ホストだったら…
社長に…



…まだ温かい



見返りなんて
いらない

う
しゃっ…

会社の為に
社長の為に
生きると決めたのに



あの人の成功が
最優先なのに

うう
ひぐっ…

浅ましい自分が
どんどん嫌いにな
っていった

そして――…
社運を賭けた
大事な日の前日に

あなたが好きです…

私はとうとう
社長への想いを
口にしてしまった



そしてそのまま
社長と顔を合わせず
迎えた大会当日

優勝は野坂憩さん！
残波グループが
契約権を獲得しました！

我が社は無事
野坂くんの活躍によって
契約を勝ち取った

最大のライバルだった
会長はやはり
汚い手を使って
いたので

賄賂先を
ハニトラ課と共に
潰しておいたのも
功を奏した

でも
社長はお気に召さな
かったようで
不機嫌になって
しまわれ……

パキパキ

ワァァ

社長もヤキモチ
焼くんですね！

きんぐ

なっ??
そんな訳……!

はっはっ

悪いか？

でも心地いい……

もぞ……

社長の匂い……?

あったかい……

あの人
ヤキモチだなんて
ありえないというのに……

本当に……
なんて都合の
いい夢だろう



まずい…

社長の顔
見れない…！

元々お伝えする
つもりもなかった
ことです

今までも十分に
仕事はこなせて
きたのですから
気を遣って
頂かなくて結構です

今まで通り
仕事仲間として
会社において頂ければ
私はそれ以上は何も
望んでは…

しっ…
失礼します…

話し聞け！

びくッ

ガッッ

怖い

怖い

あんな千鐘

いい機会だから
言っておく…

逃げ出したい

嫌だ

ドッ

ドッ

聞きたくない

ギョッ…

この関係が
終わってしまう……

ガチャッ

残波社長！
おめでとう
ございまーす！

ご挨拶に
参りました！

おーっ！
わざわざ申し訳ない！
こちらが伺います！

1=10
ッ





もしかして

査定
!!

恋愛パンコツ



秘書として接待課や
ハニトラ課を
束ねている身だが
社長にテストして
もらったことはない…

くしゃくしゃくしゃく

あのヤキモキも
恋の実演ヘチェックだ
きこっそーだマァー

告白するなんて
失態を犯したんだ

優しいあの方のことだ
チャシスを
くださったのだろう



よし!
課の長として!
指導している身として!

キラッ

社長に私の
テクニクを
見せよう!

恋人には
なれなくても
せめて秘書として
ずっと傍に置いて
もらえるように!

ゴッゴッ..

へへへい

?









頬や舌で
行き止まりを
作って

いゅぽ

んむ…

そこに先を
擦りつけて…

いゅぽ

んっ…

けほ…

んっ…

吸いあげる時は
音を立てる…

いゅぽ

くっくく…

良かった…
固くなっている

んっ

んっ

んっ

社長…
ちゃんと感じて
くださっている…?

っ…っ

グググ…

んっ

急に大きく
なった…?

目線が合った
だけなのに…?

ば

ち



目…合わせながらが
好きなのかな…?

ちゅっ…

恥ずかしいけれど

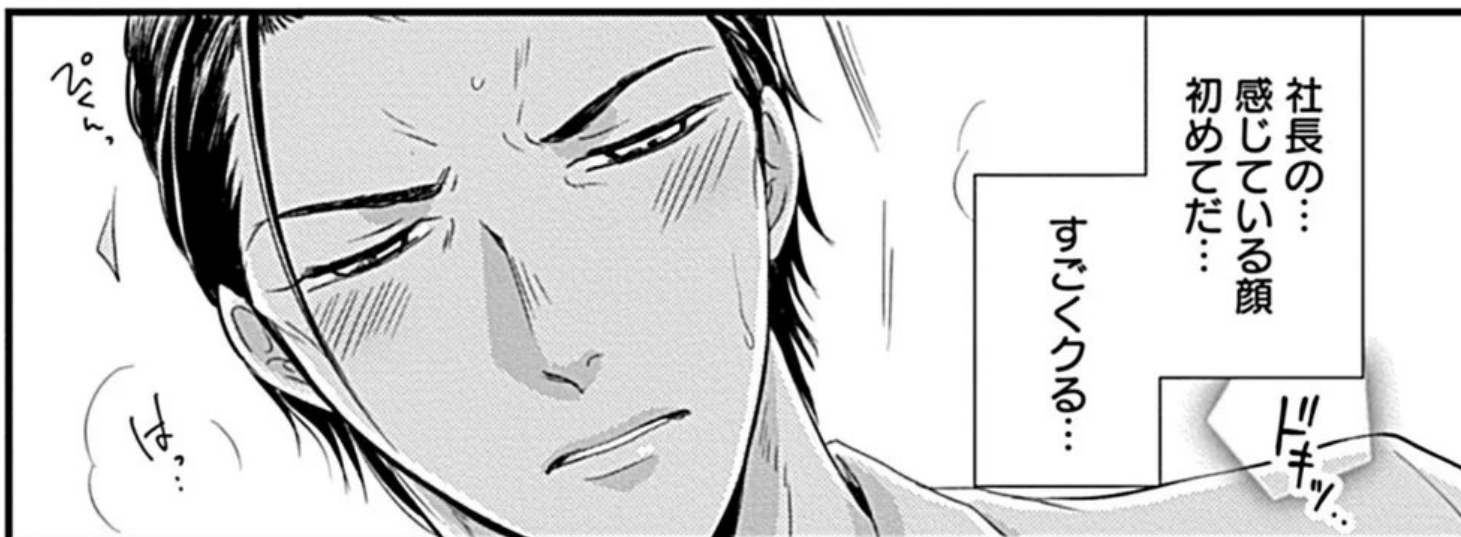
ふふ…

ちゅっ…

ちゅっ…

顔…見ながら…

キラッ…



社長の…
感じている顔
初めてだ…

ドキッ…

すごくくる…

はっ…

はっ…



あ…
また大きく…

スッ…

身体が疼く…

ちゅっ…

ちゅっ…

きゅん…

ちゅっ…

社長のコレで
貫かしてみたい…

はっ?

カッ…
カッ…



そ...
そんなことして
頂かなくても
結構です
テストに
集中してください

はぁっ...♡



いま
なんて言った？

私が秘書として
適っているか
今後の査定をして
いるんですよ？



もっ...♡

はぁっ...♡

課の指導者として
これからも精一杯
励みますので...

私的な感情で
不安にさせて
すみません...

終わった…？
もういいのか？

スッ…

最後まで
シなかった…

カッ…

合格ラインじゃ
なかったか…？

でも…社長は
ちゃんと感じていた
はず…

他の男にも
そうしてきたのか？

良い舌遣いだった
これなら誰でも
そそられるだろう
誘い方も慣れていたな

！…お褒め
頂き恐縮…

110
ッ

え…？

ガッ

ほっ…
他の人なんて
知りません！
初めてしました！

ああ…
初心^{うぶ}な芝居か
教科書通りで
結構なことだ

どこで
間違えた??

原因は??
何が社長の
気に障った?

知識通りにやった
社長も
ちゃんと勃^たっていた
悪くない実践
だったはず

あ…あの…

俺に『接待』は
二度とするな…！



…八つ当たりした
すまん

ハア…

ぐいぐい

接待…

するな…？

頭冷やしてくる
そのまま直帰
するから

ガチャッ

!?…
あのっ社長…！

社長と
連れ添って
十年経った

こんな風に…
怒らせたことは…
初めてだ

私は…何か
思い違いを
していたのか…？

全部…
告白して
しまってから…

関係がおかしく
なっている…

ぐす、

ぐす、







To be continued...



綺麗なツラして…
聞いてた以上の
暴れ馬だったな

運べ





社長専属ハニトラ課秘書のプライベート Day.1 ～片恋長年ラブ濡れご奉仕フェラ～【18禁版】

【著者】
かんち

【発行】
(株)ブレインハウス

【レーベル】
in-Pants
<https://inpants.jp/>

本書の無断転載・複写・複製・上演・放送・アップロード・デジタル化を禁じます。
本書を代行業者等第三者に依頼しスキャンや電子化することは、
たとえ個人でのご利用であっても著作権法上認められておりません。

【♥お便り・感想♥】
インパンツ編集部では作品への感想を随時受け付けております！

アンケートフォーム：<https://inpants.jp/message>

ファンレター宛先はコチラ▽

〒110-0015
東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町 8F
株式会社ブレインハウス in-Pants編集部気付
かんち先生宛